

## 第17期定時株主総会 質疑応答要旨

第17期定時株主総会におきましては、多数の株主さまにご来場いただきまして、誠にありがとうございました。質疑応答の時間には、株主さまから多数のご質問、ご意見を頂戴いたしました。

以下に、その要旨を掲載いたします。

開催日時： 2018年6月22日(金) 10:00~11:16 (所要時間 1時間16分)

開催場所： リそなグループ大阪本社ビル 地下2階講堂 (大阪市中央区備後町二丁目2番1号)

来場株主数： 422名

### <質疑応答の要旨>

| 1  | リース業への進出について  |
|----|---|
| 質問 | ・リース業への進出の考えはあるか。   |
| 回答 | ・リース業は特に中小企業とのお取引、連携において重要と考えている。<br>・現状、100%子会社は有してないが親密なリース会社があり、一般の中小企業を中心とした事業会社向けサービスにおいて連携していく。 |

| 2  | ファンドラップの商品性について  |
|----|--|
| 質問 | ・もっと株式での運用比率を高めた商品ができないか。<br>・買付までの日数の短縮ができないか。  |
| 回答 | ・当社のファンドラップは、現預金中心の運用をしている運用に詳しくないお客さまに長期分散による投資を経験していただくことを目的としており、その意味で偏った運用内容はこの商品の目的ではないと考えている。<br>・買付までの日数の短縮については、この商品は8資産の組み込みであり揃えるには時間がかかるが、今後検討していく。 |

| 3  | 株主優待制度について   |
|----|--|
| 質問 | ・クラブポイントによる株主優待制度について教えてほしい。   |
| 回答 | ・株主優待制度の申込みはWEBと郵送で受け付けている。<br>・株主優待以外でも銀行取引でポイントがつく仕組みとなっており、引き続きより良い制度としていきたいと考えている。 |

| 4  | ファンドラップの商品開発について   |
|----|--|
| 質問 | ・成功報酬型のファンドラップの商品開発の経緯等について教えてほしい。   |
| 回答 | ・長期分散型投資を経験されていないお客さまに体験していただきたい思いから、30万円からファンドラップをお試しいただくことができ、利益がでた場合のみ投資顧問手数料をいただく成功報酬型のウエルカムプランを開発した。<br>・銀行のお客さまの9割が投資信託や保険商品等の投資性商品未経験であり、低金利の中で運用に馴染んでもらうべく、今後もお客さまのご意見を伺いながら新しい商品開発に繋げていきたい。 |

| 5  | 店舗戦略について  |
|----|---|
| 質問 | ・他行とは異なり、店舗の拡大等を行う戦略をとる狙いは何か。   |
| 回答 | ・従来より、リそなグループ全体でオペレーション改革として効率化・生産性の向上に向けた取組みを行ってきており、店舗は可能な限り維持しつつも、近接する店舗の見直しは必要と考えている。<br>・1店舗あたりの人員の見直しは可能であるが、新規採用が難しい人口減少社会の中で人が対応する部分と機械が対応する部分をはっきり分けていきたいと考えており、そのためにお客さまとの接点強化とデジタル化・効率化・生産性の向上を図るべくオムニ・チャンネル戦略を推進していく。 |

|    |  |
|----|--|
| 6  | 自己資本比率について   |
| 質問 | ・自己資本比率低下の原因と9%目標の見通しについて教えてほしい。   |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資本比率の低下は、前年度に優先株式の償却と劣後債の償還をしたことが大きな要因となっている。今後については関西みらいフィナンシャルグループの設立を織り込んで9%の設定にしているが、中期経営計画の最終年度での達成は可能と考えている。</li> <li>・当社は国内基準行であるが海外の株主も多く海外での活動もしているため国際基準ベースでの公表もしている。自己資本比率は関西みらいフィナンシャルグループの統合に伴い一時的に低下するが、徐々に回復していく予定である。</li> </ul> |

|    |   |
|----|---|
| 7  | IT・仮想通貨等への取り組みについて  |
| 質問 | ・IT、仮想通貨への取り組みについて教えてほしい。   |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ITについては、金融機関合同で設立したブロックチェーン技術のコンソーシアムの会長銀行として積極的に取り組んでいく。また、店舗においてもペーパーレス化・デジタル化によるスピーディーなサービス提供を推進している。</li> <li>・仮想通貨を自身で発行することは考えていないが、現金による支払いに代わるものとしてデビットカードを推進している。</li> </ul> |

|    |   |
|----|---|
| 8  | 人材育成・役員の自社株保有について   |
| 質問 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成への考え方について教えてほしい。</li> <li>・役員には経営者としてもっと株式を保有してもらいたい。</li> </ul>  |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の相談というのは人の気持ちが必ず入ってくるものであることから、オムニ・チャネル戦略においても従業員が重要であると考えており、今後とも「お客さまの喜びがりの喜び」という基本姿勢のもと全社員がオムニ・アドバイザーといえる人材を育成していく。</li> <li>・役員の株式保有については、上場会社としてのルールを遵守したうえで購入を進めていきたい。</li> </ul> |

|    |  |
|----|--|
| 9  | 関西地域での戦略について   |
| 質問 | ・当社が関西3行統合を中心となってまとめあげたことを評価している。これからもお客さまと一体となってグループ銀行を盛り上げていくことに中心となって尽力してほしい。                                       |
| 回答 | ・関西みらいフィナンシャルグループについては、皆さま方のご支援を賜りながらさらに成長させていきたい。統合により関西でのプレゼンスをさらに高め、デジタル化とフェイス・トゥ・フェイスの両方によりお客さまの役に立つ銀行として尽力していきたい。 |

|    |   |
|----|---|
| 10 | 社史について  |
| 質問 | ・社史編纂の予定はあるか。                                       |
| 回答 | ・現時点では予定はしていないが、関西みらいフィナンシャルグループなど新たな動きもあり今後の課題としたい |